



笹小だより

No. 7

平成28年10月31日

横浜市立 笹野台小学校

秋・・・小さい幸せ見つけて

校長 倉岡 ナオミ

三ツ境駅から学校までの道すがら、柿の実のオレンジ、コスモスのピンク、ムラサキシキブの紫など秋の色をたくさん見つけました。風も涼しく感じられるようになり、もうすっかり秋です。美しい自然を目にすると何とも言えない感動がわき上がってきます。

さて、学校ではスクールコンサートに向けての練習も始まり、それぞれの学年らしい発表に向けて、子供たちは頑張っているところです。合唱クラブも含めて全校が音楽に親しんでいることで全体に落ち着きも出ているように感じています。先月は学校を開く週間・ふれあい学級へのご参加ありがとうございました。子供たちと保護者の皆様のたくさんの笑顔を見ることができ、嬉しく思うとともに、御理解、御支援をいただいていることへの感謝の思いを新たにしました。また、地域の方々にもボランティアとしてご尽力いただき、子供たちの学習が深まりましたことを、この場をお借りして御礼申し上げます。これからの計画もごございますので、今後ともよろしく願いいたします。

ところで、昨今のテレビや新聞からは、不安や危険、悲しみを煽るような報道が溢れています。ともすると、本当に気持ちが落ち込み、元気がなくなってしまうようです。こういうときこそ、自家発電をして、自分の心に火を灯したいものです。そのために、身近なところにある幸せを探してみました。自分の目で美しい自然の色を見ることができ、自分の口で秋の味覚を味わうことができる、秋の風を感じ、空の美しさを感じる事ができる、この耳できれいな曲を聴くことができる、秋の香を胸一杯に吸い込むことができる、この手で子供たちの頑張りを応援することができる、元気で働くことができる・・・など、数え上げればきりが無いほど、幸せが見つかります。今、自分はこうして生きていて、たくさんの幸せを与えられているのだなと思うと、心がほっこりしてきます。そうすると、現実の多少困難だと思えた問題も何だか解決できそうな気になってきます。たとえ何か問題が起きたとしても、それは最悪の状況ではないし、十分挽回できることでやり直せるのだと思えてきます。心の灯火がカンテラのように道を照らし、希望が見えてくるのです。日常にはいろいろなことが日々起こり、良いことばかりではなく、心が波立つこともたくさんあります。しかし、身近にある小さな幸せを見つけることで一度立ち止まり、心の向きを明るい方へ変えることができるのではないのでしょうか。実りの秋に心も豊かにして冬を迎えたいです。



笹野台小学校合い言葉

元気いっぱい

やさしさいっぱい

笑顔いっぱい

心かがやく笹小キッズ

笹野台小Web

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sasanodai/>

検索

横浜市立笹野台小学校